

—炭都三池が生んだ文化展—

街が丸ごと

炭都大牟田の建物～



松屋創業祭 昭和30年頃

タイムスリップ

建物～

【会期】令和8年 6月6日(土)～7月5日(日) 9:30～17:00

※毎週月曜休館(祝日の場合は翌平日) ※最終日は16:00まで

【会場】MPLC石炭館(大牟田市石炭産業科学館) 企画展示室

【観覧料】無料 ※常設展示室観覧の際には別途観覧料が必要です

【主催・問合せ】MPLC石炭館(大牟田市石炭産業科学館)
TEL 0944-53-2377 FAX 0944-53-2340

【共催】炭都三池文化研究会

【協力】宮田朝暉(大阪芸術大学)、林田麻里(俳優)

taramu books & cafe

登録有形文化財大牟田市庁舎本館の保存と活用をめざす会

関連イベント

講演会「絵はがきと古地図に見る大牟田の風景」

日時：令和8年6月13日(土) 14:00～15:30

会場：2F オリエンテーション室

講師：中野浩志(MPLC石炭館)



太陽館 昭和30年頃
(提供：林田麻里)

—炭都三池が生んだ文化展—

街が丸ごとタイムスリップ

～炭都大牟田の建物～



(三池名勝) 鎮西館通 (絵葉書)

去年は昭和100年、戦後80年の節目の年でありました。大牟田の街は終戦の前年からの計5回に及ぶ空襲で、焼け野原になってしまいました。

それでも竪坑櫓や松屋デパート、大牟田市庁舎などの建物は残っていて、戦後、街には新しい商店街や住宅、映画館などが次々に出来て賑わいを取り戻していきました。

それから80年たった今、街の景色は急激に変わっていきます。

福岡市の天神ビッグバン、熊本市のサクラマチや駅ビル。そして大牟田の街も、これからさらに変わっていくのでしょうか。

でも、街にはまだ昭和にタイムスリップしたような建物や風景が残っています。今に残る建物をあらためて発見し、消えてしまったものを思い出す。炭都大牟田を再発見する試みです。



大牟田市役所
(絵葉書：大牟田浪漫より)



「解体される三川坑」：働淳作 (水彩画)

【主な展示内容】

大牟田市庁舎の写真・絵葉書

戦前の大牟田市街図と絵葉書

昭和30年代の大牟田の映画館の写真

漫画に描かれた大牟田の建物

水彩画：炭鉱の建物

写真展：街が丸ごとタイムスリップ

交通案内

- 新大牟田駅より タクシー 約20分
- 大牟田駅西口より
徒歩 30分
タクシー 8分
バス イオンモール行 終点下車 徒歩8分
帝京大学福岡キャンパス行 終点下車 徒歩3分
レンタル自転車 15分
駅東口前の観光プラザおよび、
駅西口西鉄大牟田駅で取り扱っています
- 九州自動車道 南関ICから 自動車で約25分
- 長洲港より 自動車で約30分
- 無料駐車場あり



旧グランド劇場 (思案橋)

主催
お問合せ

MPLC石炭館
(大牟田市石炭産業科学館)

〒836-0037 福岡県大牟田市岬町6-23
TEL:0944-53-2377
FAX:0944-53-2340